

1. 第18週から第22週(4月30日~6月3日)までの動向

STD : 淋菌感染症を除く、性器クラミジア感染症、性器ヘルペス感染症及び尖形コンジローマが、先月に比べ増加しています。
 薬剤耐性菌感染症: メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症の報告数は9人(4月:2人)と、増加しました。薬剤耐性緑膿菌感染症は、1人報告されています。
 全数把握対象疾患における各保健所管内の報告状況は、以下のとおりです。

- 結核: 東地方;2人、弘前;3人、八戸;6人、五所川原;2人、上十三;2人、むつ;1人、青森市;5人
- 腸管出血性大腸菌感染症: 弘前;1人、八戸;1人
- A型肝炎: 八戸;1人
- つつが虫病: 五所川原;1人、むつ;1人
- ウイルス性肝炎: 弘前;1人
- バンコマイシン耐性腸球菌感染症: 弘前;1人

STD: Sexually Transmitted Diseases: 性感染症。性的接触を介して感染することが多い感染症です。

2. STD発生状況

1) 保健所管内別

(人/定点)

	性器クラミジア		性器ヘルペスウイルス		尖圭コンジローマ		淋菌		合計		総合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
弘前		3.33		0.33		0.33	0.33	0.67	0.33	4.67	5.00
八戸	3.00	1.00	5.00	1.00	3.00	1.00		1.00	11.00	4.00	15.00
五所川原											
上十三	1.00	3.50			0.50		0.50	0.50	2.00	4.00	6.00
むつ											
青森市	1.33	1.67	0.33	0.33	0.33	0.33	0.67		2.67	2.33	5.00
合計	5.33	9.50	5.33	1.66	3.83	1.66	1.50	2.17	16.00	15.00	

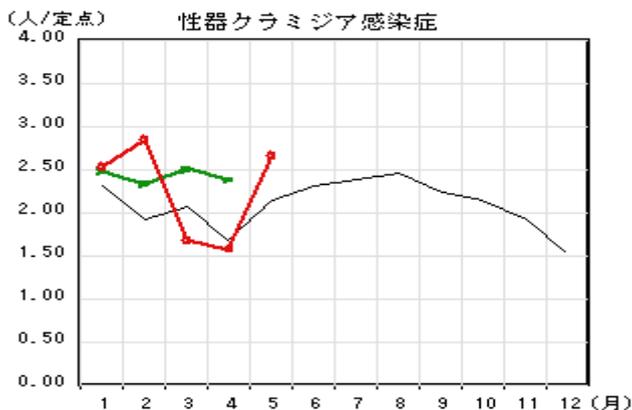
2) 年齢別・性別

(人)

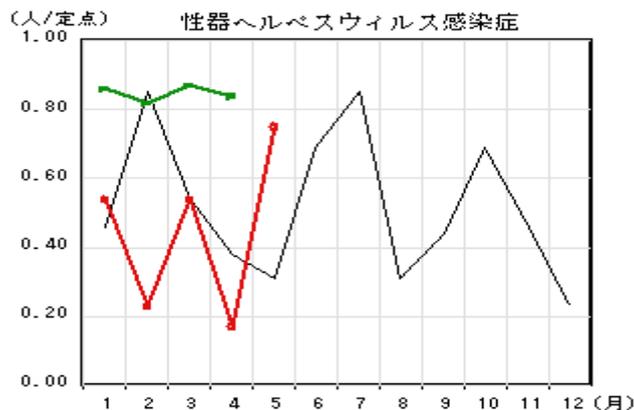
年齢	性器クラミジア		性器ヘルペス		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		青森県計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
0										
1~4										
5~9										
10~14										
15~19		5	1	1		1		1	1	8
20~24	2	9	1	2	1		1	3	5	14
25~29	2	5				2			2	7
30~34	4	3	1		1				6	3
35~39	1	1			1		2		4	1
40~44			2				1		3	
45~49										
50~54					1				1	
55~59										
60~64					1				1	
65~69										
70~			1						1	
合計	9	23	6	3	5	3	4	4	24	33

3.STD 感染症の月別推移

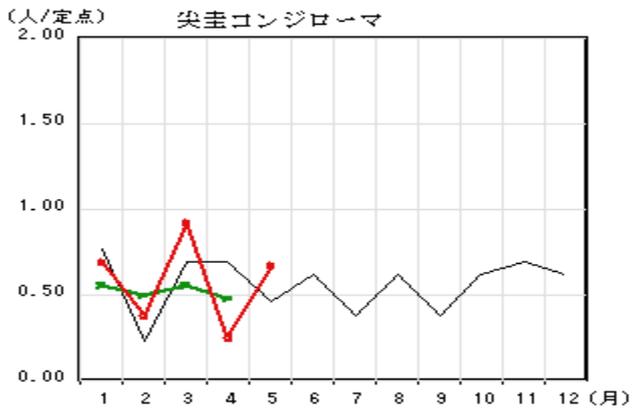
全国値（—）は、4月までです。



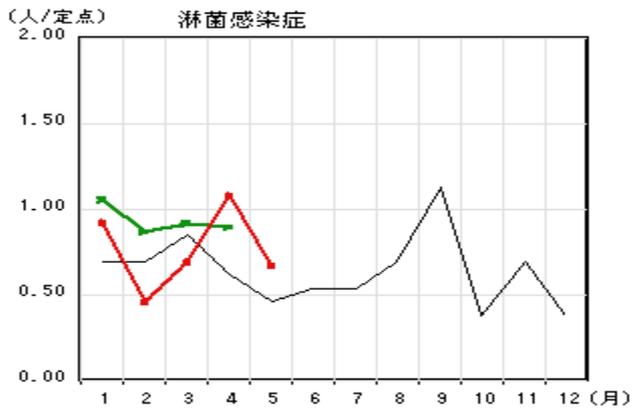
[先月に比べ、増加しました。]



[先月に比べ、急増しました。]



[先月に比べ、やや増加しました。]



[先月に比べ、やや減少しました。]

4. 薬剤耐性菌感染症発生状況

1) 採取部位別

	採取部位別										青森県 合計	
	喀痰	留置カ テータ ル	術創部 (創部 感染)	耳漏液	気管洗 浄液	血液	髄液	胸水	腹水	膿		その他
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	3		4			1					1	9
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症												
薬剤耐性緑膿菌感染症											1	1

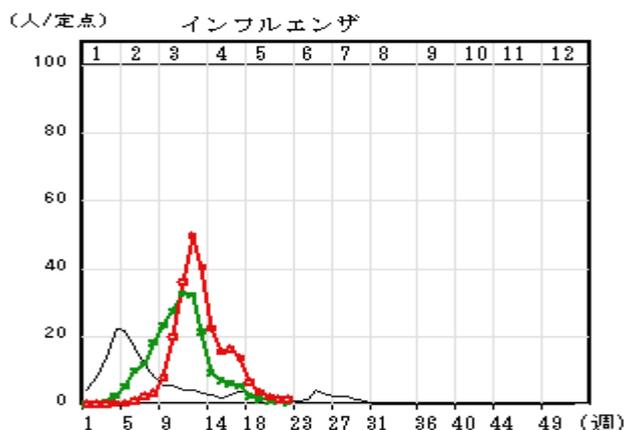
5. 全数把握感染症 (2007年)

注:全数把握疾患報告数については、速報値です。

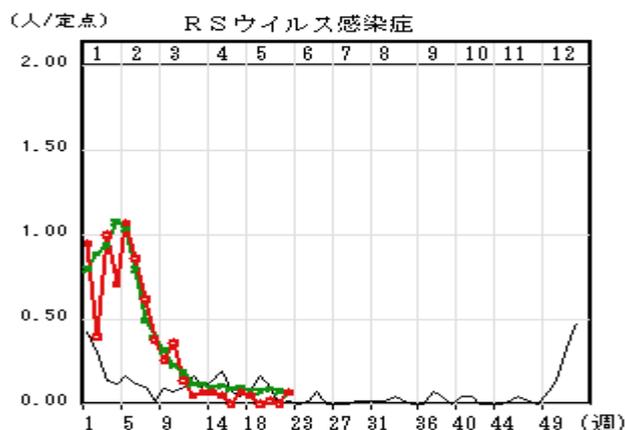
		青森県		全国	
		当月	累計	当月	累計
一類	1 エボラ出血熱				
	2 クリミア・コンゴ出血熱				
	3 痘そう				
	4 南米出血熱				
	5 ペスト				
	6 マールブルグ病				
	7 ラッサ熱				
二類	8 急性灰白髄炎				
	9 結核	21	45	730	1229
	10 ジフテリア				13
	11 重症急性呼吸器症候群				
三類	12 コレラ		1	2	7
	13 細菌性赤痢		1	22	159
	14 腸管出血性大腸菌感染症	2	4	136	346
	15 腸チフス			4	13
	16 パラチフス			1	7
	四類	17 E型肝炎			1
18 ウエストナイル熱					
19 A型肝炎		1	1	8	39
20 エキノコックス症				1	2
21 黄熱					
22 オウム病				2	8
23 オムスク出血熱					
24 回帰熱					
25 キャサヌル森林病					
26 Q熱					3
27 狂犬病					
28 コクシジオイデス症					1
29 サル痘					2
30 腎症候性出血熱					1
31 西部ウマ脳炎					
32 ダニ媒介脳炎					
33 炭疽					
34 つつが虫病		2	3	13	43
35 デング熱				2	16
36 東部ウマ脳炎					
37 鳥インフルエンザ					
38 ニパウイルス感染症					
39 日本紅斑熱				3	3
40 日本脳炎					1
41 ハンタウイルス肺症候群					
42 Bウイルス病					
43 鼻疽					5
44 ブルセラ症					2
45 ベネズエラウマ脳炎					5
46 ヘンドラウイルス感染症					1
47 糞しんチフス					2
48 ボツリヌス症					1
49 マラリア				1	15
50 野兔病					1
51 ライム病				6	
52 リッサウイルス感染症					
53 リフトバレー熱					
54 類鼻疽					
55 レジオネラ症			23	112	
56 レプトスピラ症				3	
57 ロッキー山紅斑熱					
五類	58 アメーバ赤痢			31	175
	59 ウイルス性肝炎	1	1	6	21
	60 急性脳炎		1	9	37
	61 クリプトスポリジウム症				2
	62 クロイツフェルト・ヤコブ病		1	7	29
	63 劇症型溶血性レンサ球菌感染症			3	16
	64 後天性免疫不全症候群		1	48	253
	65 ジアルジア症			2	9
	66 髄膜炎菌性髄膜炎			2	5
	67 先天性風しん症候群				
	68 梅毒		1	22	121
	69 破傷風			4	11
	70 バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症				
	71 バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	1	3	17

6. 定点把握感染症の推移

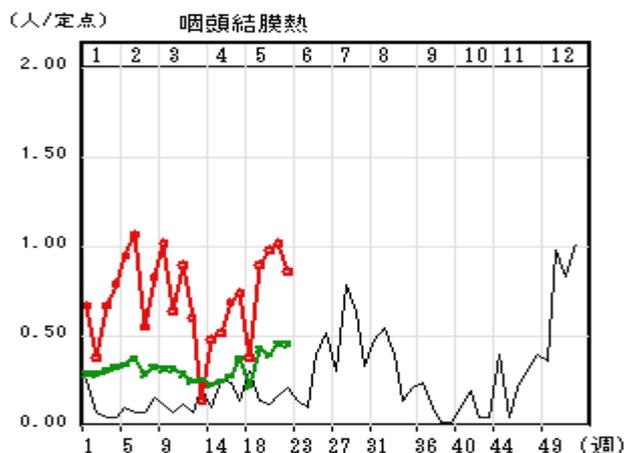
○—○ : 当年 (青森県) — : 前年 (青森県) ×—× : 当年 (全国)



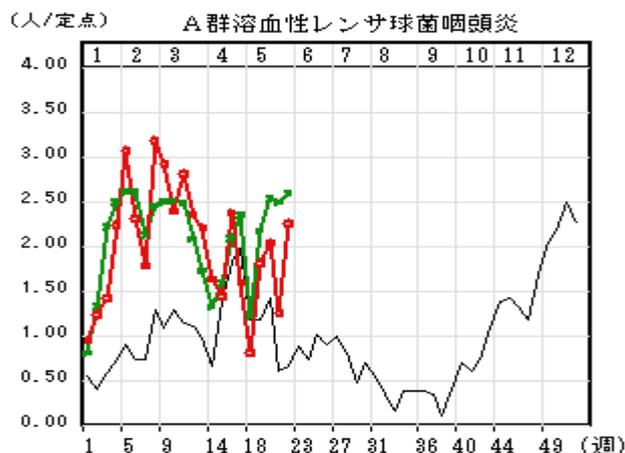
[5月以降は、沈静化傾向が継続しています。]



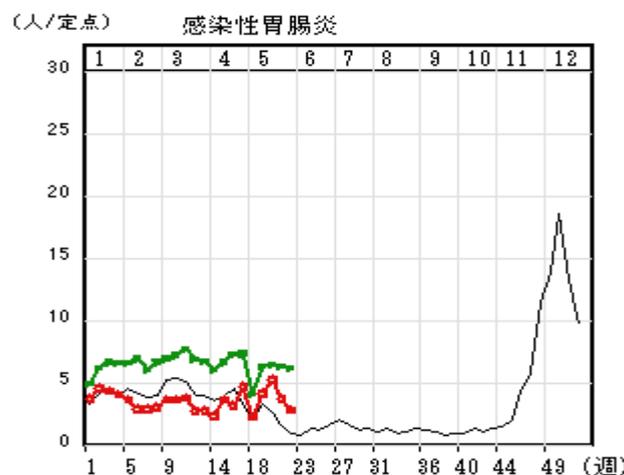
[2月以降、減少傾向が継続しています。]



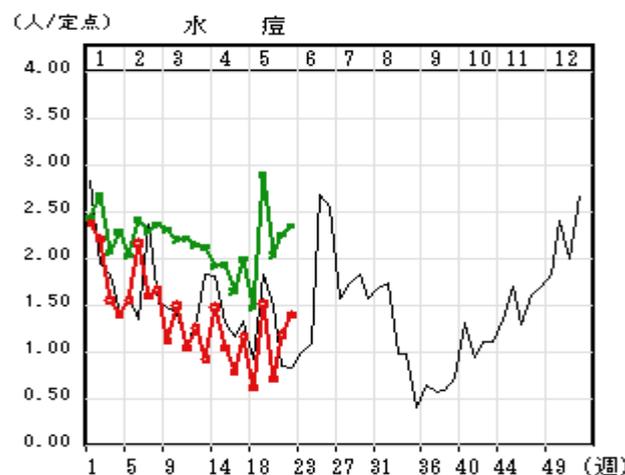
[5月は、多い報告数で推移しました。]



[全国値より低い値で推移しました。]

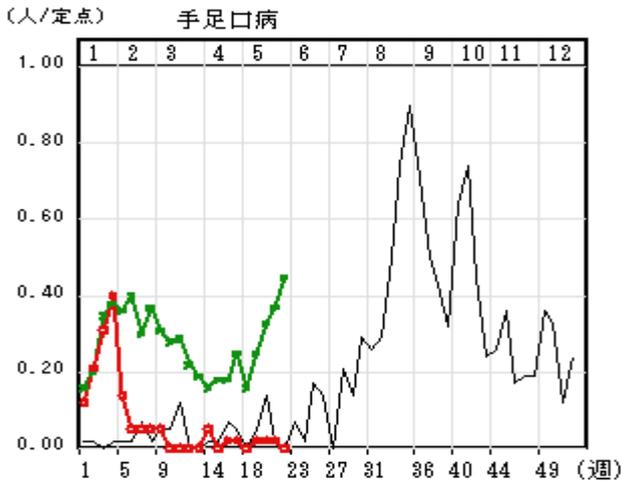


[5月中旬に、僅かに増加しました。]

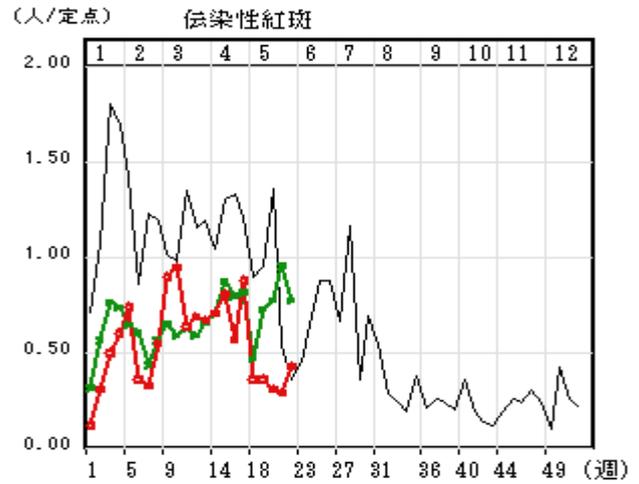


[全国値より低い値で推移し、減少傾向にあります。]

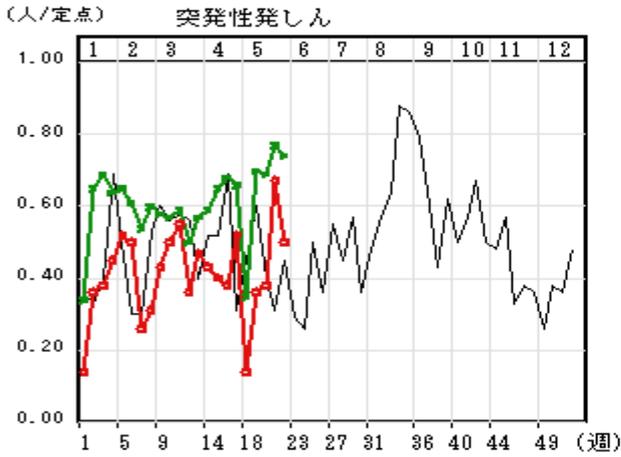
○—○ : 当年 (青森県) — : 前年 (青森県) ×—× : 当年 (全国)



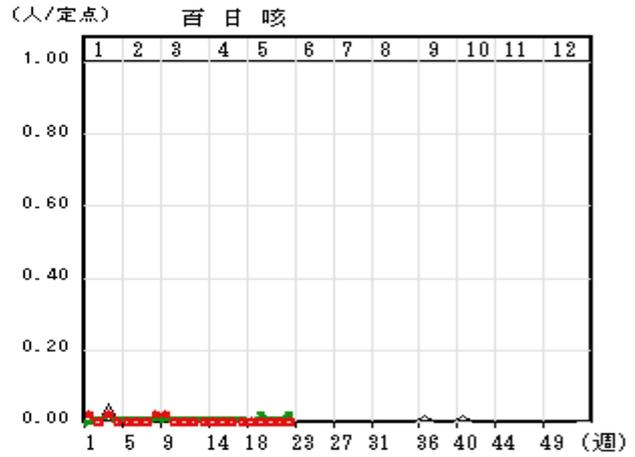
[少ない報告数で推移しています。]



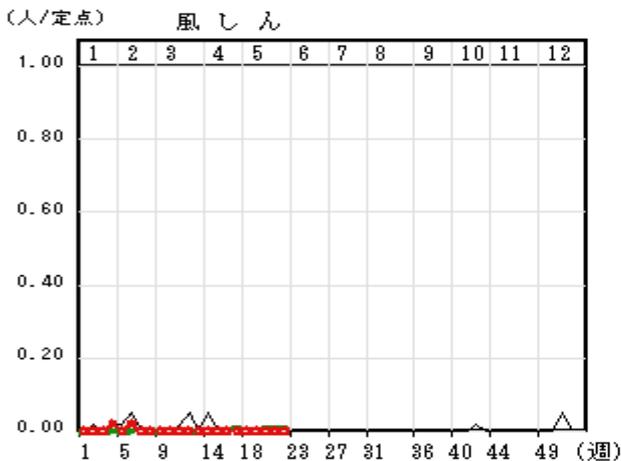
[5月は、少ない報告数で推移しました。]



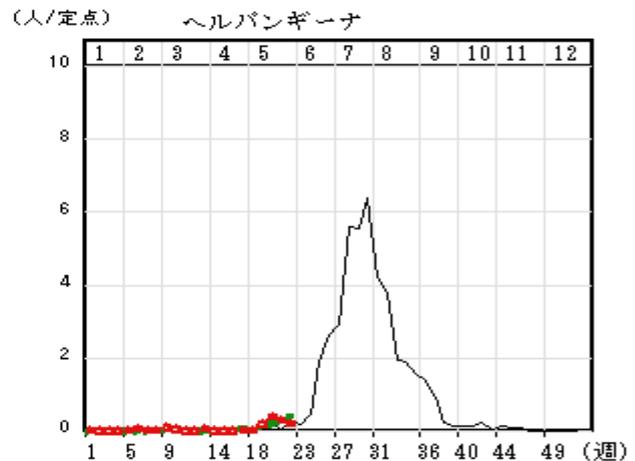
[急激に増加した後、下旬にやや減少しました。]



[当月は発生報告がありませんでした。]

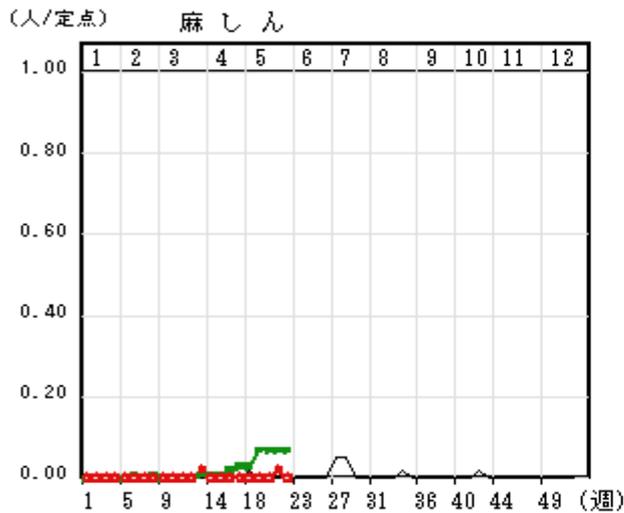


[当月は発生報告がありませんでした。]

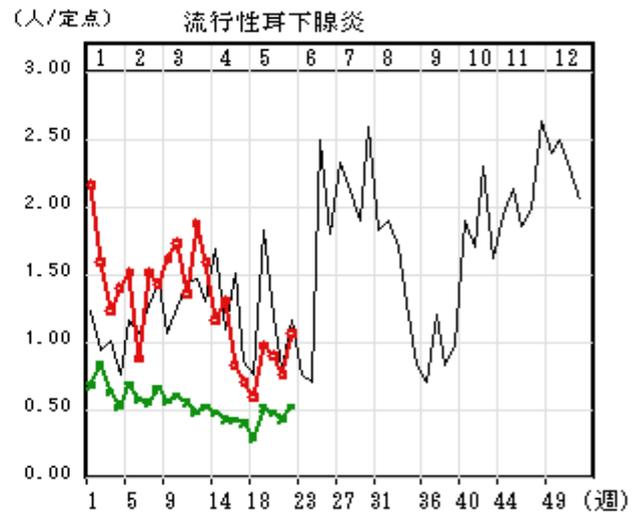


[少ない報告数で推移しています。]

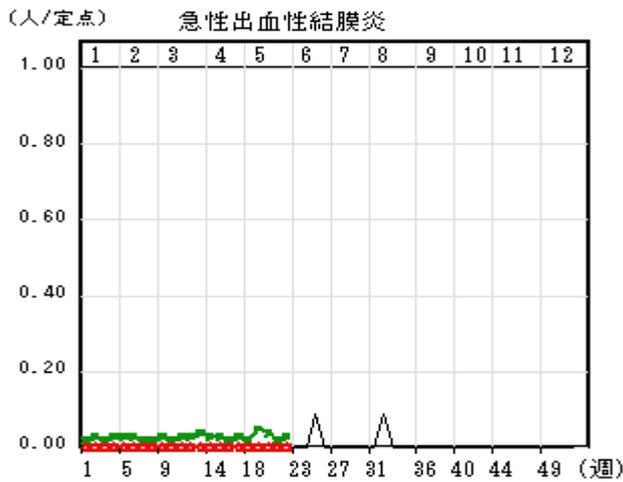
○—○ : 当年 (青森県) — : 前年 (青森県) ×—× : 当年 (全国)



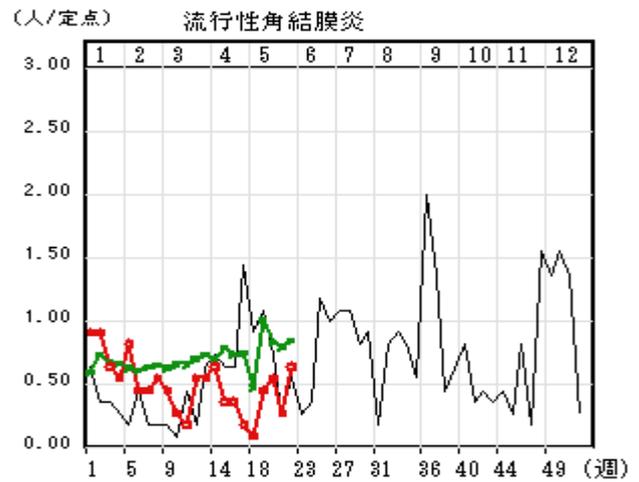
[当月は、1人の発生報告がありました。]



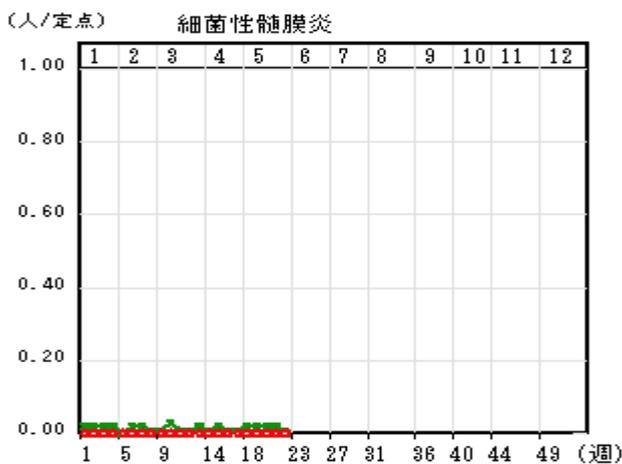
[先月下旬に比べ、やや増加傾向で推移しました。]



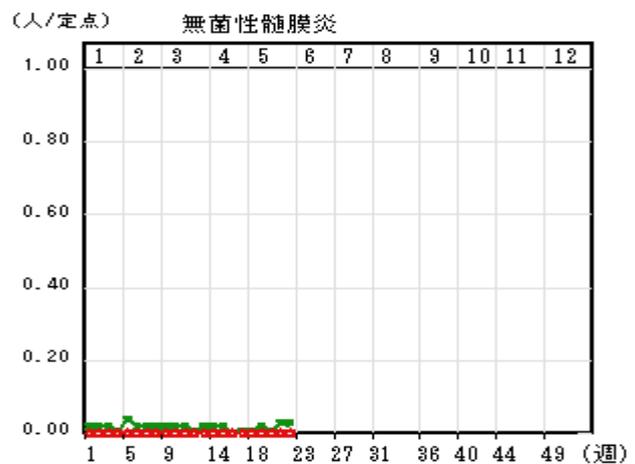
[当月は発生報告がありませんでした。]



[4月下旬から増加傾向で推移しています。]

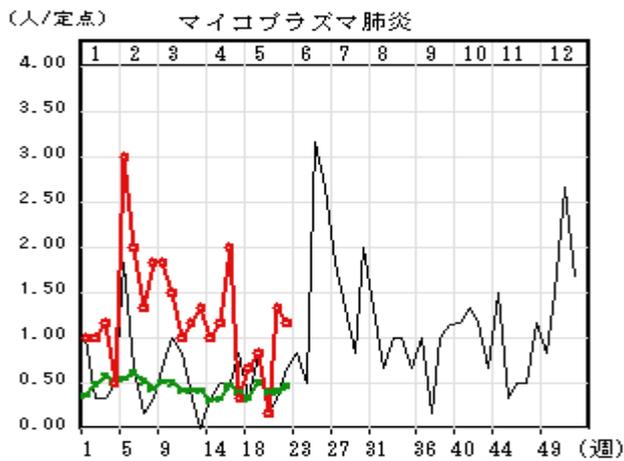


[当月は、報告がありませんでした。]

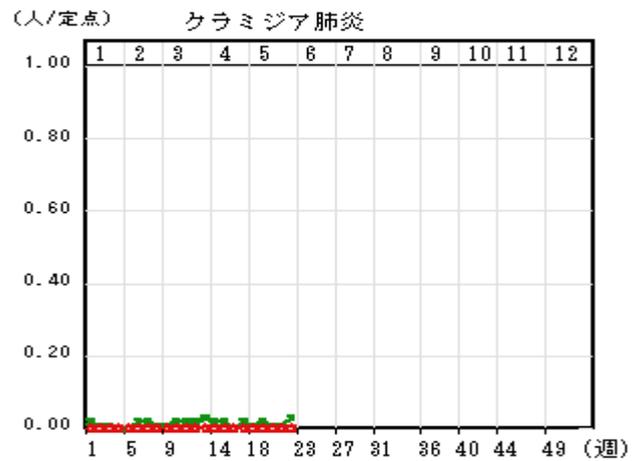


[当月は、報告がありませんでした。]

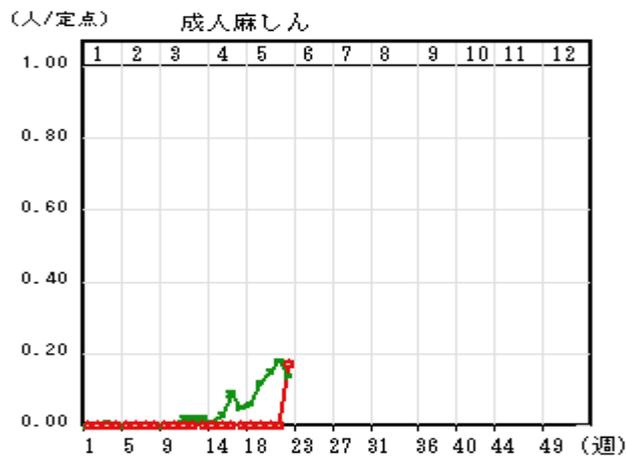
○—○ : 当年 (青森県) — : 前年 (青森県) ×—× : 当年 (全国)



[5月は、下旬に増加しました。]



[当月は発生報告がありませんでした。]



[全国的には、患者報告数が増加しています。青森県においては1人の発生報告がありました。]